

火災警報器が作動し、
大きな火災に至らずにすんだ例をご紹介します。



タバコで…

★タバコの火が座布団に落ちて着火

タバコを吸っている時に、近くにあった座布団にタバコの火が落ちたことに気が付かなかったため、後から座布団が燃え上がりました。火災警報器が作動し、隣家の主婦がこの警報音に気が付き119番通報の後、自宅の消火器で消し止めたので、座布団とゴザが少し燃えたぼや火災ですみました。

★他にもこんな例が…

- ・電気ストーブに衣類が落ちて着火
火災警報器が作動し、火災に気づいたためぼや火災ですみました。
- ・仏壇の線香が座布団の上に落ちて着火
火災警報器が作動し、早く発見できたため大事に至りませんでした。



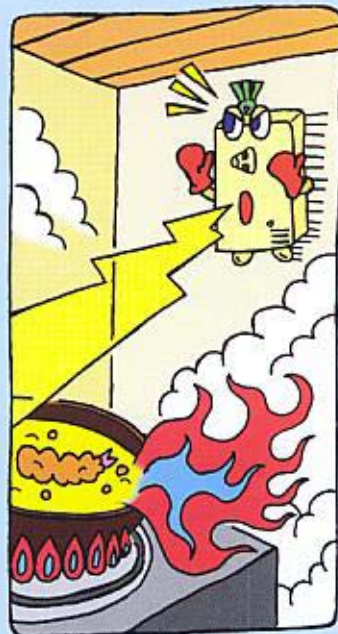
調理中に…

★てんぷら油が発火し、付近のタオル等に着火

コロッケを揚げていた時に来客があり、ガスこんろの火を消さずにその場を離れて対応したため、火がついたままであることを忘れてしまいました。その後、てんぷら油の温度が上昇して燃え上がり、付近のタオルやのれんを焦がしましたが、火災警報器が作動したので火災に気が付き、隣家に知らせたので、隣家の男性が自宅の消火器で消火しました。

★他にもこんな例が…

- ・煮物をしていることを忘れて火をつけたまま鍋を放置
火災警報器が作動し、異常に気づき鍋を焦がしただけですみました。
- ・ガステーブルの火が布巾に着火
火災警報器が作動し、火災に気づいたためぼや火災ですみました。



いのち
火災警報器はあなたと、あなたの大切な人の生命を守ります。